

[専門教育科目/看護の統合と発展]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
災害看護論	NSP42_001	必修	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎 洋子	301	y.yamazaki	月曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	災害が地域や人々の健康と生活に多大な影響を及ぼすことを理解し、自ら自然災害を疑似体験した上で、災害サイクルや活動現場に応じた被災者の健康や生活のニーズに対する看護の果たす役割について理解することを目的とする。また、災害医療・看護の基礎知識を理解し、災害医療の特徴・災害発生前の準備および災害の情報と亜急性期の看護、被災者への生活支援・看護職に求められるコーディネータとしての役割を教授する。さらに、災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護の実践に必要な知識・技術を課題学習および遠隔授業で教授する。				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中およびリアクションペーパー、オフィスアワーにて受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めてほしい。				
教科書	看護の統合と実践② 災害看護学/編:小井土雄一、石井美恵子/メヂカルフレンド社/2020				
参考書	災害看護学・国際看護学/編:日本赤十字社事業局看護部/医学書院/2019				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	災害の種類と疾病構造、災害サイクルの特徴を理解することができる		NS(4)、NS(5)		
②	災害が地域や人々の健康や生活に及ぼす影響を理解することができる		NS(1)、NS(2)、NS(4)、NS(5)		
③	災害サイクルに応じた看護の役割について理解することができる		NS(4)、NS(5)		
④	病院における災害時の院内外での医療救護活動について理解することができる		HSU(3)、NS(4)、NS(5)		
⑤	被災者および救護者の災害によるストレスとその対処法を理解することができる		NS(1)、NS(2)、NS(4)、NS(5)		
⑥	自然災害を疑似体験することで、発災時の初期行動等について理解することができる		NS(1)、NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)		
1	災害および災害看護に関する基本的知識 フィードバック：資料の送付	印刷教材の 授業	国内外の災害、災害看護に関する事柄に興味を持ち、新聞、教科書等から情報を得ておく。	1	
2	意見交換の機会：メール				
3	災害時の医療と初動体制、避難所について学ぶ フィードバック：資料の送付	印刷教材の 授業	災害時の医療救護活動の基本となるCSCATTTを教科書等で再度確認する。 新型コロナウイルス感染症について調べる。	1	
4	意見交換の機会：メール				
5	災害時の医療救護活動について学ぶ。 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材の 授業		1	
6	災害と災害医療体制と看護について学ぶ フィードバック：資料の送付	印刷教材の 授業	災害時に活躍する組織(災害拠点病院、DMAT、DPAT等)、災害時のパブリックヘルスについて授業配布資料と教科書等で再度確認する	2	
7	意見交換の機会：メール				
8	災害時のトリアージについて学ぶ。 フィードバック：資料の送付	印刷教材の 授業	災害時の対応技術であるトリアージについて授業配布資料と教科書等で再度確認する。	2	
9	意見交換の機会：メール				
10	避難所の要配慮者の生命と健康保護について学ぶ。 フィードバック：資料の送付	印刷教材の 授業	配慮者、こころのケア、避難所救護活動の基本となるCSCAHHHとヘルスケアトリアージについて授業配布資料と教科書等で再度確認する	1	
11	意見交換の機会：メール				
12	被災者、救護者の災害時のこころのケアを学ぶ。 フィードバック：資料の送付	印刷教材の 授業	配慮者、こころのケア、避難所救護活動の基本となるCSCAHHHについて授業配布資料と教科書等で再度確認する	1	
13	意見交換の機会：メール				
14	災害時の医療救護活動の災害サイクルと看護の役割について学ぶ フィードバック：資料の送付	印刷教材の 授業	地震災害、火山噴火災害の概要と発災時の初期行動等について各自で予習し、授業配布資料と教科書等で再度確認して授業に参加する。	1	
15	意見交換の機会：メール				
レポート提出：達成度評価、評価のポイント参照					

[専門教育科目/看護の統合と発展]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	80	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	20	30
問題を発見・解決する力		0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	災害看護に必要な看護技術演習への事前・事後学習を含む、取り組みの姿勢・意欲を踏まえ総合的にレポートを評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①		講義の最終日に総括した内容の講評や解説、説明の資料配布を行う。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①		レポート提出期日を厳守する。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	レポート提出期日を厳守する。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
授業補助者：伊丹 幸子							
実践的授業の内容： この科目は、担当教員が保健所・市町村における行政保健師活動の経験を活かし、内容を構築している。							
・社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。							